

新規事業採択時評価項目調書

1 事業概要	事業名	広域営農団地震道整備事業 阿武北2期地区		
	事業場所	萩市		
	事業主体	山口県		
	事業期間	平成 31 年度 ~ 平成 35 年度 (西暦 2019 年度 ~ 2023 年度)	総事業費 (用地補償費)	1,870 百万円 (10 百万円)
	事業目的	広域農道を整備することによって、農業生産性の向上、地域農産物流通の合理化、集落間アクセス機能強化による生活環境の向上により地域の活性化を図ることを目的とする。		
事業内容	道路工 延長L=1.3km 幅員W=7.00m			
事業効果	広域農道阿武北2期地区の整備により、農畜産物の生産及び流通に係る移動や輸送の効率化が可能となる。また、集落営農法人の連携強化や規模拡大を促進し、所得向上や雇用創出など、地域の活性化が図られる。			
2 評価の視点	(1) 社会経済状況	当地区の社会経済情勢	<p>萩市は、山口県の北部に位置し、日本海の豊かな青い海と緑の大地で構成された自然の恩恵を受けたエリアである。</p> <p>本地域の農業情勢は、なし・ももなどの果樹栽培や肥沃な土を利用した野菜や良質のお米に加え、県内最大規模の肥育牛団地による経営が行われているが、基幹的農業従事者の平均年齢が70歳を超え、農業後継者の育成確保など農業振興が課題となっている。</p> <p>こうした状況を踏まえ、交通基盤の整備により農作物の生産及び流通に係る移動や輸送の効率化により、集落営農法人の連携強化や規模拡大による農業振興を図る。</p>	
		関係市町及び地元の意向	<ul style="list-style-type: none"> 「萩地域農林業・農山村振興協議会」が設立されている。 市担当部署（農政課）による支援体制が確立されている。 <p>以上により、円滑な事業実施が可能である。</p> <p>【地元の意向】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受益者の同意のもとに地元から事業採択申請がなされ、事業を実施しており、早期の全線開通を望まれている。 	

2 再 評 価 の 視 点	事業の投資効果	費用対効果等	(単位：百万円)																																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>基準年：平成29年度</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">便益 (B)</td> <td>①維持管理費節減効果</td> <td>-510</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行経費節減効果（農業）</td> <td>19,639</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③走行経費節減効果（一般）等</td> <td>11,121</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>30,250</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①広域農道事業費</td> <td>13,764</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②関連事業費</td> <td>15,431</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>29,195</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比（B/C）</td> <td>1.03</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 費用(B)・便益(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>「新たな土地改良の効果算定マニュアル」</p> <p>①維持管理費節減効果：土地改良施設を新築・改築する場合に、これまで要してきた維持管理費が増減する効果。</p> <p>②走行経費節減効果（農業）：農産物の生産並びに流通に係る輸送経費が節減される効果。</p> <p>③走行経費節減効果（一般）等：一般交通及び林業における通作、輸送交通の改善並びに山林保育の機械化等山林経営の合理化による経費の節減が図られる効果。</p>	区分	主な項目	基準年：平成29年度	備 考	全体事業	便益 (B)	①維持管理費節減効果	-510		②走行経費節減効果（農業）	19,639		③走行経費節減効果（一般）等	11,121		総便益	30,250		費用 (C)	①広域農道事業費	13,764		②関連事業費	15,431		③その他	-		総費用	29,195		費用便益比（B/C）
区分	主な項目	基準年：平成29年度	備 考																																
		全体事業																																	
便益 (B)	①維持管理費節減効果	-510																																	
	②走行経費節減効果（農業）	19,639																																	
	③走行経費節減効果（一般）等	11,121																																	
	総便益	30,250																																	
費用 (C)	①広域農道事業費	13,764																																	
	②関連事業費	15,431																																	
	③その他	-																																	
	総費用	29,195																																	
費用便益比（B/C）		1.03																																	
の コ ス ト 縮 減 ・ 代 替 案 等	コスト縮減	現場で発生する低品質の掘削土を残土処理を極力減らす工法施工を行うことより、残土処理に係るコストの縮減を図る。																																	
	代替案	<ul style="list-style-type: none"> 計画路線は、台地間を繋ぐとともに、農業用施設を結び市場に最短で向かう路線配置となっており、既存国道・県道などと機能目的が異なっているため、既存道路の改良等の代替案はない。 また、未着手区間が全体の3%程度であり、用地買収はおおむね完了しており、代替案の立案はない。 																																	
3 環 境	配慮事項	水質汚濁防止のため、工事施工箇所に沈砂池を設置し濁水流出防止に努める。																																	

【用語説明】